

禁止から設計へ

JUEMUN2025 botが残したもの

第4章 JUEMUN2025 botの構築: GPTsを利用したAIアプリによる英語運用力(OEP)の育成

藤村 敬次

愛知工業大学 基礎教育センター

金星堂オンラインセミナー「AIと大学英語教育 ―今、何が求められているのか?―」 2026年9月5日

出発点:「これは本人の力か、AIの力か」

監視

- AI使用の有無を調べるのが業務の一部になる
- 教員は疲弊し、学生との信頼関係が損なわれる
- それでも、学びの質は上がらない



設計

- 最初からAIを使わせる前提で教材と授業を組む
- 学びのプロセスが教員に見える
- 「AIをどう使ったか」を評価に組み込める

本章の問い: AIを「監視対象」から「知識構築資源」へ位置づけ直したとき、どんな授業が可能になるか

前提：英語力の定義をアップデートする（OEP）

従来の英語力

- 脳内の知識だけで産出する
- 試験で測れるものに価値
- 支援(scaffold)は撤去する前提



英語運用力（OEP）

- 個人の能力 + 機械翻訳・生成AI = 英語での課題解決力
- ツールを「外的支援」ではなく「自己の能力の一部」として統合
- AIのscaffoldは撤去しない。常時併走する「外付けの脳」

76%

生成AIを導入済み・検討中の企業 (n=310)

70.3%

「リテラシー・スキル不足」を課題に挙げた企業

出典：野村総合研究所(2025)「ユーザー企業のIT活用実態調査(2025年)」／Vygotsky (1978); Wood et al. (1976); Fujimura (2024)

実践: JUEMUN2025 bot(GPTsで自作) @ 会議型授業

29

名(CEFR A2~B1)

15

回の授業(会議3日分を含む)

3

つの機能

1 会議プロセス学習支援

議事進行や非公式協議の流れを段階的に提示。「今どの行動が必要か」を教える

2 スピーチ編集支援

文法・語彙だけでなく、説得力と構成を見直す提案をする

3 交渉表現支援

状況別の外交的フレーズを提示し、テキストまたは音声で即興のやり取りを練習

プログラミング不要。対話で下書きを作り、「構成」で指示を調整し、「知識」に会議資料を読み込ませる。学生とbotの会話履歴URLを課題と一緒に提出させる設計。

構築の手順は画面付きで本書3.1節に。

学生はAIをどう使ったか：会話履歴から見た 5つの型

1

探索型

AIとの対話から知識・情報を得て理解を深める

2

依存型

AIの出力をそのまま、ほぼそのまま使う

3

創発型

自作文を基にAIからチェックや改善提案を得る

4

補整型

AI出力を基盤に自分の意見・情報・事例を追加修正

5

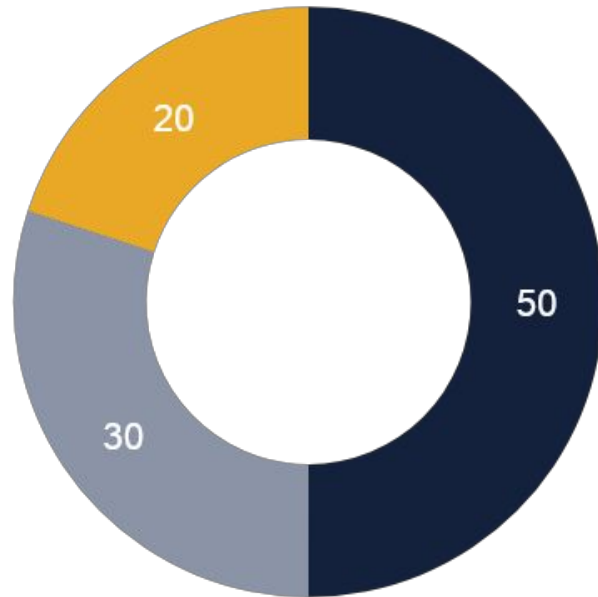
練習型

AIとの対話そのものを人との練習の代替にする

どの型が最も多かったか。そして、「AI依存は批判的思考を下げる」という通説と食い違う行動が、どこで出てきたか。
会話履歴と事後インタビュー（N=19）の分析は本書 4.2～4.3節に。

Zhai, Wibowo, & Li (2024) の指摘との対比

評価を組み替える: 成果物の質ではなく、運用の質を見る



■ 授業内・会議内スピーキング
■ ポジションペーパー
■ bot課題 (プロセス重視)

1

AIで良くなった部分は評価しない

文法や表現の完成度はAIの力と想定し、配点から外す

2

プロセスを可視化する

会話履歴URLの提出で「どう補整・創発し、どう運用したか」を見る

3

AIが届かない領域と組み合わせる

授業内スピーチ、会議での発言回数。integrated taskとして設計

評価観点の実際と、学生アンケート6項目の結果(表1・表2)は本書4.3節に。

2026年8月、前提が変わった

個人アカウント(Free / Go / Plus / Pro)では新しいGPTを作成・公開できなくなった。既存の botは動く。Eduワークスペースでは作れる。

JUEMUN2025 botが担っていたこと

1. Bot 機能



これからの担い手

プロンプト+メモリ機能。科目・教材・学習者像を覚えさせれば、次から過去の記録を手繰れる。

2. Chat Bot を作る・学生に使わせる



教員がChat Botを自作 (エージェントによるプログラミング)

第4章で残した問いを、1冊かけて答えます

近刊(2027年3月刊行予定・仮題)

『AI時代のアクティブラーニング型英語教育
—AIを積極活用した会議型授業の理論・設計・実践—』(仮題)

藤村敬次 金星堂

ご清聴ありがとうございました。



本日の資料はこちらより DLください。